

携帯電話料金と接続料等の関係の検討に関する追加質問（MNO）
ソフトバンク回答

【辻座長】

○国際ローミングに係る費用

・国際ローミングを基本料金内で提供するプランについて、国際ローミングに係る費用の計上についてどのように考えるか。

(回答)

国際ローミングに係る費用は、他社に支払う接続料として取り扱うべきものであり、スタックテスト上はその他設備費用として計算するのが適当と考えます。なお、比較する利用者料金は、国際ローミングを利用するために利用者が支払う料金が基本料金に含まれるプラン、オプション料金が必要になるプランを考慮し、利用者料金収入に反映すべきものと考えます。

【佐藤構成員】

○接続料の換算

・MVNO 委員会が提案したデータ接続料の換算方法についてどう考えるか。他のより合理的な換算方式があるか。

(回答)

データ接続料は、帯域単位で設定されている一方、利用者料金は基本的にデータ量で設定されているため、その変換を合理的に行う必要があると考えます。

MVNO 委員会の提案の換算方法は、データ接続料(円/Mbps)をデータ量での byte 単価に算定した上で、プラン別の容量に応じた負担額を算出するものと理解しています。その場合、プラン毎に設定されている上限値となるデータ量ではなく、プラン毎の平均的なデータ利用量を反映して適切な一人当たりの負担額を算出する必要があると考えます

なお、弊社では、データ接続料（円/Mbps）に、設備容量計画上に用いるプラン（別の一人当たりの最繁時の必要想定帯域(Mbps)を乗じて一人当たりの接続料負担額を算定しており、より合理的な換算方法であると考えています。

・音声接続（プレフィックス自動付与）と音声卸は契約社数においてどのような割合で利用されているのか。

(回答)

弊社では 1 次 MVNO 傘下の 2 次以下の MVNO の社数を把握していないため正確な契約社数を把握しておりませんが、利用実態という意味では、自動付与対象となるエンドユーザー数の方がより適切と考えます。弊社の L2MVNO の音声役務を利用しているエンドユーザーのうち、自動付与の対

象者は約 %の方にご利用いただける状況です。
構成員限り

○割引の反映方法

・家族割等の割引について具体的にどのような計算方法が適当であるか。事務局が示した算定方法（割引が適用される回線数と適用されていない回線数を加重平均して、1 ユーザ当たりの割引相当額を算出）のメリット、デメリットを示し、貴社で考えている具体的な計算方法を提案してください。

(回答)

設備費用と利用者収入を比較するにあたり、設備費用を一人当たりの平均設備費用を算出するのであれば、利用者収入も一人当たりの平均利用者収入を算出することが適当と考えます。

算定方法については、ヒアリングでご説明した通り、割引の適用回線数と非適用回線数を加重平均し、1 ユーザ当たりの割引相当額を算出し、それをサービスの料金額から控除した額を利用者料金として検証すべきと考えます。また、期間が限定されている割引については、割引総額を利用者の平均利用期間で除算して考慮すべきと考えます。

・固定通信とのセット割を反映させる場合、具体的にどのような計算方法が考えられるか。
・非通信サービス（電気等）とのセット割のプランについて、同等の非通信サービスと通信を個別に契約した場合の料金とセットで契約した場合の料金はどうなっているか。また、割引の反映にあたり具体的にどのような計算方法が考えられるか。

(回答)

セット割の対象となるサービスは、MNO あるいは MVNO の創意工夫により多種多様なものが想定されるため、セット割引を利用者料金に反映すべきか、検討が必要と考えます。

以上